



KTTCC NEWS



2021年8月

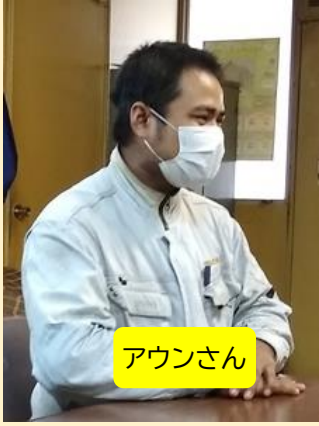
外国人技能実習生・特定技能外国人・企業の未来を応援します

今を楽しもう！ 実習生インタビュー

大阪府K社には現在、ベトナム人4名、ミャンマー人3名、計7名の実習生および特定技能外国人が在籍しています。今回は、2020年2月に入国したミャンマー出身の実習生3名にインタビュー。コロナ禍の過ごし方、日本語学習のことなどを聞くことができました。

アウンさん（溶接）

とても真面目で頑張り屋。日本語を話そうとする意欲があります。



アウンさん

最初は買い物に苦労しました。日本語が難しいというより、日本語で話しかけても英語で返事する人が多かったからです。英語よりも易しい日本語の方が理解できず。英語で返事されても、自分の方からは日本語しか話さないようにしました。すると、日本語が理解できることを分かってもらえて、コミュニケーションが取れるようになりました。



アウンさん

ソーさん（溶接）

3名の中で唯一、ベトナム人の先輩と共同生活をしています。共通の言語は日本語だけ。日々の生活には日本語が欠かせません。

ベトナム人の先輩と一緒に住んで、日本語がとても上達しました。頼みごとがある時など、伝えるためによく調べたからです。どうしても分からない時はスマホで写真を見せます。身振り手振りで通じたこともあります。

日本人とは、最初は身振り手振りがないと伝わりませんでした。でも外国人だと分かる、易しい日本語で話してくれるようになりました。コミュニケーションで困ることはあまりありません。

コロナでどこへも行けませんでしたが、一緒に住んでいる先輩とパーティーをしたり、お互いの国の歌を歌ったりして、もっと仲良くなりました。



チツさん

ソーさん

先輩
トウイさん

組合
杯トスタッフ

チツさん（溶接）

明るいまードメーカー。大きな体と笑顔が印象的です。

今は前より日本語を話せるようになりました。日本語能力試験に合格できるように頑張っています。でも大阪弁は難しいです。店員さんに「おおきに」と言われた時、意味がわかりませんでした。私体がちょっと大きいので、そのことを言われたのかと思いましたが、あとで「ありがとう」と同じ意味だと知りました。



ミャンマーの食材が欲しい時に専門店のお店へ行きました。お店の人と挨拶をして、一緒にミャンマーのお茶を飲みました。母国のことを思い出しました。

実習生たちは来日直後からコロナ禍に見舞われました。日本でやってみよう、行ってみたいところ、たくさんあったでしょう。しかし今は、全てを叶えることはできません。できるのは形を変えて今を楽しむこと。インタビューからは、悲観することなく前を向いている様子がうかがえました。

また、母国の情勢も気になるところです。彼らは今、小銭貯金をしています。親がいないミャンマーの子供たちに寄付するためだそうです。母国を思い、遠い異国の地で



技能実習に励む彼らの3年間の実りあるものであることを願っています。

言葉がつながる縁 日本語スピーチより



ニャンさん
(ベトナム)
2019年9月入国
電気機器組み立て

兵庫県I社の定期訪問に同行しました。そこで出会った実習生、ニャンさんをご紹介します。印象深かったのは、そのユーモラスな日本語スピーチでした。選んだテーマは「語呂合わせ」。

8月7日は
はなの日。
1月11日は
ワンワンで犬の日。
2月22日は
ニャンニャンで猫の日。

日本語の言葉遊びについてよく調べているなあと感心する私。そして私の期待をさらに裏切り、彼は洒落っ気を見せてくれました。

ニャンニャン
僕の（名前の）日です！



私は心の中で「座布団一枚!」、思わず頬が緩みます。調べたことをただ紹介するだけではなく、聞き手を楽しませるようアレンジしています。1分程度の短い時間でしたが、

「もう少し話を聞いてみたい」と、ニャンさんに対する興味が湧いてきました。ちなみに、日本語の言葉遊びということで、同僚の実習生たちが理解するには少し難しかったようです。



訪問終了後、駐車場で帰り支度をしていった時のこと。ニャンさんが颯爽と自転車で駆け寄ってきてくれました。思っていた通りとても人懐っこく、癒し系スマイルがチャームポイント。印象的なピンクの帽子もよく似合っていました。この帽子、組合で講習を受けている頃から持ち歩いていたことを、同行していた日本語教師が思い出しました。聞けば、友人からもらった思い出の品だそう。どこかへしまいだまらず、大切な友人の存在を常に感じているニャンさんの姿に心温まり、なんだか幸せな気持ちになりました。

「まだ日本語でペラペラ話すとができない」というニャンさんですが、3年満了までにN2に合格するという目標を持って日々頑張っています。思い描いている帰国後の夢にもつながる日本語。持ち前の明るさで周りの日本人を巻き込みながら、うまく習得しているのではないかと思います。

企業より生まれる好循環

A社より、「実習生たちがとても一生懸命で、本当に感謝している」と、嬉しい報告を受けました。組合の指導に対してしきりにお礼を言われましたが、我々はA社自らのご努力の賜物ととらえています。A社では実習生を複数のクラスに分け、担任と副担任を配置。月1回のペースで、「悩み相談会」や生け花などの「文化活動」を開催して

います。結果として良好な人間関係が構築され、その関係が実習生の意欲を引き出し、そして実習生の高評価へとつながりました。企業によるキメ細かいサポートが好循環を生み出した事例です。なによりも、まずは他を称えるA社の姿勢こそが、好循環の原動力かもしれません。



～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

Kansai Technical Cooperation Center
協同組合関西技術協力センター
一般監理団体／登録支援機関

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監理団体です。2019年には特定技能制度における支援機関として登録されました。教育・各種サポートは、受け入れ企業様に好評を頂いております。「日本企業と諸外国との架け橋になりたい」「日本で成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけれど...」「実習生と直接話してみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。



本部外観



発行・お問い合わせ

大阪本部 広報課 TEL:06-6333-2373 (平日9時～18時)

大阪本部 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号

名古屋事務所 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号フジオビルディング4F

広島事務所 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10F